

堀川正幸君 BOXに協力！

ロータリー財団：

山本賢君 ライラ研修参加の皆様、大変御苦勞様でございました。何か感動を得られたでしょうか？

小林満君 //

小林繁男君 //

ライラ研修報告：

捧 智行さん（山上委員長代読）

ライラ研修から無事戻って参りました。今回の研修では様々な分野で活躍しておられる講師の先生から講演をして頂き、これからの自分にとって非常に刺激になることが多かったです。中でも2つの講演が特に印象の強いものでした。

1つはスキースクールの経営をされている角皆先生の講演でした。先生は進学校の高校に行かれたそうですが、高校での詰め込み教育が嫌になり、卒業後すぐに大学に進まずに水泳のインストラクターをされたそうです。その後そこで出会った外国人の子供と英語で話をする事が出来なかった事をきっかけに、英語を勉強するという口実で親に大学に行かせてもらったそうですが、やはりそこでも自分が望んでいるような教育はなされていなかったことに失望されたそうです。しかし大学の体育の授業においてスキーと出会い、これは本当にやりかった事だと思い、すぐに大学を中退されたそうです。

自分自身も高校での詰め込み教育が嫌になり、中学時代に比べ勉強しなくなった経験がありました。そのため先生の話に非常に共感できる部分が多かったです。先生は今の日本がダメになっていくのは詰め込み教育が受動的な人間を生み出した結果だとおっしゃっていました。今後、自分自身が主体性を持ち、能動的に行動できる社会人となることが、少しでも社会の貢献に繋がるだろうと思いました。

もう1つは、刺青を入れ、小指の無いキリスト教会の牧師の講演でした。牧師の先生は一度、人生のどん底を経験されたそうです。もう死ねしかないと思ったときに自殺する力も残っていない。目に見える人生の路がすべて閉ざされたとき、最後に頼ったのが目に見えない神様という存在だったそうです。その講演を聞いたあと、イスラム教系の外国人留学生の方とお昼ご飯を食べながら宗教について話しました。彼は将来に向けた明確なビジョンを持っていて、人間的に魅力のある方でした。その彼は講演で聞いた話は幼い頃から何度も聞いたことがあり、国の人々はみな宗教観が確立されていると言っていました。自分のような現代の若者は宗教観というものがまったく無いに等しいと思います。宗教観は死生観に繋がると思います。どのようにこの世に生を授かり、どのように死んでいくかということを考えることが少ないため、どのように生きるかということについて真剣に考えることが少ないのではないのでしょうか。そこに留学生を始めとした外国の若者と現代の日本人との人間的な幅の広さの違いがあるのだらうと思いました。

今回の研修を通して学んだ事は今後の人生において事あるごとに思い出されるような、示唆深い内容が多く含まれていたと思います。そのような機会を与えて頂いたことに深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

小林 恵美さん

今回、第3回ライラ研修に研修生として参加させていただきました。

3日間の日程の中、それぞれ違ったジャンルの講話を聞く機会を与えてもらい、影響を受けたところがいくつかあります。それはいわゆる人生の先輩という立場の方々の生き方、失敗、そしてどうやって立ち直り、いまどう思っているのか聞くことが出来たことです。自分もそういう場合に立ったとき、何らかの形で支えてくれると思います。また、そのような講話をされた方々だけでなく、3日間生活を共にしたロータリアンの方々を見ても、「今を生きている、楽しんでいる」という気迫が伝わってきて自分も常にそうありたいと思わせてくれました。講話それぞれに感じたことは、「自分のやりたいことを再度見つめ直し、それに向かう努力が必要」ということです。今、私が携わっている仕事にもう一度目を向け、自分の姿を見つめ直してみようと思います。

そしてこの研修で得た大きな事の一つは、いろいろな職種、年代の違う人達が集まり話すことが出来たことです。たとえば私は病院以外の人と関わりあうことが殆どなく、あっても同年代の人達が殆どでした。

ここでの3日間は年代の違う人達と共に生活したことで、いろいろな職業について学ぶことが出来、悩み事など話したり、アドバイスをもらったり、様々な人との交流をもてたことは、とても楽しい時間となりました。

3日間、長いようで短かったけれど、とても充実したものとなりました。「人との出会い」の大切さを改めて感じ、いつか自分でも自分の生き方や考え方をもっとしっかり持てるようにがんばりたいと思います。研修に参加させて頂きありがとうございました。

林 清美さん

私は三之町病院で薬剤師をしております林清美と申します。

今回「ライラ研修」の研修報告と言うことでテーマを頂きましたが、実に困っております。何故かと申しますと、3日間11の研修の中で多くの人生の先輩方の経験を伺う機会に恵まれまして、それぞれの人生に学ぶべき点、感銘を受けた点が多くありすぎ、研修全体を通しての感想を一通にまとめあげられないと感じたからです。そこで、特に感銘を受けた講演について取り上げさせて頂きたいと思います。

その講演は、元ヤクザで現在は牧師をなさっている鈴木牧師の「どん底からの出発法」というものでした。以前からテレビでそういった経歴の牧師さんがいらっしゃるのには存じておりましたが、変わった人もいるものだなあという程度に思っておりました。

鈴木牧師がステージに上がられた時には、あまりに柔和な顔に、元ヤクザという経歴の方が嘘なのではないかと思われました。鈴木牧師の経験を伺いながら、私は恥ずかしながら何度も泣きそうに